

様式第3号

議 事 録

会 議 名		第2回 あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議	
事 務 局 (担当課)		行政経営室	
開 催 日 時		平成27年10月28日(水) 18時30分から20時30分	
開 催 場 所		川西市役所 7階 大会議室	
出 席 者	委 員	新川達郎、藤本真里、国津元司、福元達也、伊藤繁治、内海陽平、山田秀一、橋本英仁、大澤茂男、池田千恵子、加門文男、永瀬雅一、荻野毅、田中まこ、吉田誠、山上豊、小田博則、菅原康雄副市長、本荘重弘副市長	
	事 務 局	松木総合政策部長、船曳行政経営室長、志波行政経営室主幹 小野行政経営室副主幹、稲治主査、山田主事	
傍聴の可否		可	傍聴者数 5人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1 開会 2 議事 あんばい ええまち かわにし創生人口ビジョン (素案) 及び総合戦略 (素案) について 3 その他 4 閉会	

発言者	発言内容等
事務局	<p>それではご案内しておりました時間がまいりましたので、第2回あんばいええまちかわにし創生総合戦略推進会議を開催させていただきます。</p> <p>皆さまにおかれましてはご多忙にもかかわらず、お集りいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は事前に送付させていただきましたあんばいええまちかわにし創生人口ビジョン素案、及び総合戦略素案につきまして活発なご議論をいただければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは初めに配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず会議次第A4の1枚、その次に出席者名簿これもA4で1枚です。それと座席表これもA4でございます。</p> <p>次にあんばいええまちかわにし創生総合戦略素案概要版ということでA3版の横で3枚つづりです。</p> <p>それと事前に送付させていただいております、人口ビジョン素案、それから総合戦略素案、最後にアンケート調査結果概要ということで、お持ちいただいておりますでしょうか。もしお持ちいただければ挙手いただけましたら配布させていただきますので、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。またですね、まことに恐れ入りますが資料で1ヶ所訂正がございます。総合戦略素案の、9頁でございます。</p> <p>ちょうど中ほどになります、重要業績評価指標と書いているところの一つ上が、市内全般公園の整備を推進しとなっております。こちら不要なので、この1行を削除いただけますでしょうか。大変申し訳ございません。</p> <p>なお会議の進行の中でご発言の際には、事務局のほうがマイクをお持ちしますのでそれをご使用いただきますようよろしくお願いいたします。それでは新川会長、議事進行をよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>みなさんこんばんは。それではさっそくですが、第2回あんばいええまちかわにし創生総合戦略推進会議、これにつきましてご議論をいただいて参りたいと思います。</p> <p>資料のご紹介がございましたとおり、今回は前回の皆さんのご意見を踏まえて人口ビジョン、それから総合戦略素案という形でご提示をいただいております。</p> <p>これについてご議論をいただかないといけないのですが、この推進会議自体が今回とあともう1回ということで、あまりゆっくりとしている時間はございませんので、効率よくしかし充実した議論というのもございますので、本日は私どもの目標であります総合戦略の中身につきましてできるだけ時間をとりたいというふうに思っておりますので、その点ご理解の程お願いをいたしたいと思っております。</p> <p>もちろん人口ビジョンがその前提になりますのでこれにつきまして一定、ご説明あるいはご意見があろうかと思いますが、できましたら、総合戦略の素案を中心にご議論いただければと思っております。</p> <p>それから毎回のことでございますが、概ねこの会議2時間程度ということで進めてまいりたいと思っておりますので、これもご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは本日の議事をさっそく進めさせていただきます。</p> <p>もう本日はこれ1本ということですが、あんばい ええまち かわにし創生人口ビジョン、それから総合戦略の当局の素案でございますが、案が出てございますので、これにつきましてご審議頂ければと思っております。</p> <p>まずは事務局からご説明よろしくお願いいたします。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>それでは私の方から人口ビジョン、それから総合戦略素案につきまして、概略につきましてご説明をさせていただきたいと思えます。</p> <p>まず人口ビジョンの素案でございます。</p> <p>1枚お開きいただきますと目次がございますけれども構成といたしましては骨子で中心にしていたのと基本的には同じです。</p> <p>基本的には1つ目には位置づけ、2つ目に人口ビジョンの対象期間、3番目に川西の人口の現状の分析というところで、人口の推移から9番目の産業別就業状況少し性質別にわけさせていただいた部分で示しております。</p> <p>大きな4番目が将来人口推計ということで社会人口問題研究所の人口推計からシミュレーションかけまして記載させていただいております。</p> <p>5番目といたしまして、人口減少による市民生活への影響と課題。</p> <p>6番目として、人口の将来展望というところで基本姿勢、将来展望ということでまとめさせていただいております。</p> <p>それでは1頁目でございますが、位置づけこれは分析をおこなってあらためて書かせていただいております。</p> <p>対象期間につきましてはすでにご案内のように国の長期ビジョンが基本2060年ですので、これとあわせて策定させていただいております。</p> <p>将来人口の現状分析ですけれども、内訳人口推移、これは詳細については省かせていただいております、特徴をそれぞれに記述させていただいております。</p> <p>例えば人口推移ですと、平成17年をピークに減少に転じてきているというようなことを記載しております。</p> <p>2番として骨子としてはお示しておりませんが、生産年齢人口が12年以降減少に転じている、逆に高齢人口が増加をしているというようなことを記述させていただいております。</p> <p>4頁の、3番目、5歳階級別人口構成比これも国、県と比較したなかでも年齢構成の構成比を特徴的に35歳、65歳、79歳にかけて、女性ですと60歳にかけて、分析させていただいております。</p> <p>5頁に移りまして、4番目の人口流動でございます。</p> <p>本市の特徴であります、ベッドタウンであるということが少し特徴的なこととしてあげられております。</p> <p>中間人口指数が低い、県内でも猪名川町さんについて低くなっておる状況です。</p> <p>あるいは、流出先をみましても大阪が多く3分の1を占める状況でございます。</p> <p>続きまして7頁に移ります。5番目転入・転出数の推移です。</p> <p>その特徴として書いておりますのが平成18年に初めて転出超過を迎えて、それ以後転入超過、転出超過を繰り返しておるという状況です。</p> <p>18年から25年の総転入数と総転出数を比較しますと400人上回っているというような状況ですので、人口減少への影響は今のところ転入転出だけで大きく影響していることはありません。</p> <p>次、8頁にうつりまして、6番目転入転出の状況というところで、都道府県別、あるいは市町村別、10頁になりましては年齢階級別にわけさせていただいております。</p> <p>特徴的なところでは都道府県別ではやはり県内が多い、社会増減数についても兵庫県内、大阪府、国内で転入超過です。</p> <p>一方転出超過では東京、京都府等々です。市町村別で見ますと近隣がやはり転</p>

発言者	発言内容等
	<p>入転出ともに多いというところでは、転出超過はやはり大阪府を中心としまして少し遠方の市町村が多いということの状況が見えてきております。</p> <p>10頁の年齢階級別の転入という状況でいきますと、少し若い世代の部分でやはり転出超過となっており、転入超過自体は30代男女ともに一定ピークを迎えてやはり減少してきているというところでございます。</p> <p>11頁に移りまして、7番、出生・死亡数の推移で、出生数は緩やかな減少、死亡数は緩やかな増加というところでございますが、自然増加の総数をみると600人の自然減となっており、人口減少に影響を与えているといえちのほうかと思ひます。</p> <p>12頁にいきまして、合計特殊出生率の推移で、これも前回骨子でも示させていたでいております。</p> <p>前回、原因がわかっているのかというご指摘をいただきましたが、正直、細かなことはわかっておりません。</p> <p>13頁に書いております通り、国・県と年齢的な部分で比較しますと、20歳から29歳がやはり少し他の年齢に比べて関心が低くなっています。そういう部分で、少しやはり影響をしています。</p> <p>それが何故か分析はできておりませんが、そういう状況は見えてきているというところでございます。</p> <p>人口分析としましては最後になります、産業別就業状況ということで、本市の就業人数、あるいはどういう産業が多いのか、全国と比較してどうなのかというところでは、</p> <p>特化係数、あるいはまた今度は無理矢理みたいところで地域外からの稼ぐ力と書いてありますが、修正特化係数というものを表記させていただいてあります。</p> <p>次に4番目の大きなところに移りまして15頁将来人口推計です。これは差し引いて、シミュレーションで前回骨子に記載させていただいたところを少し詳細にさせていただいただけですので説明は省かせていただきます。</p> <p>21頁に移らせていただいて5番目、人口減少による市民生活への影響と課題です。</p> <p>1番目高齢化の急速な進展、2番目の生産年齢人口の減少、3番目の更なる少子化の進展、4番目の人口構造変化に伴う地域力の低下です。これは書いていませんが、内容的に人口分析も踏まえながら詳細な記述をさせていただいたところでは、</p> <p>続きまして6番目、22頁をお開きいただきまして、人口の将来展望というところでは、</p> <p>先ほどの課題から逆に一定の方向性を出していく課題、対応というところでは、</p> <p>まず大きな構成として人口減少、超高齢社会に着実に対応し、持続可能なまちづくりを実現するというところで、これも骨子の中でお示しましたが、その中で高齢化への対応、まちの生産性の向上、少子化に歯止め、街の構造の転換、課題は変わっておりませんが、少し詳細な記述をさせていただいています。</p> <p>最後の23頁の人口の将来展望につきましても、再掲載になりますが、シミュレーションを想定しながら、真ん中あたりの総合戦略を策定することによって施策的・積極的に実質的な人口減少をできるだけ抑制していくというところで、目標は年間出生数1,000人を基本的に維持したいと考えております。</p> <p>人口移動の均衡をゼロにしたいというのを目標にして長期的にみますと、72年には11万人を確保するという目標をたてたいというまとめをさせていただきました。</p>

発言者	発言内容等
	<p>以上が人口ビジョンの概要です。</p> <p>続きまして、総合戦略の素案です。 お聞きいただきまして目次がございますが、構成として、まず1番目が基本的な考え方です。</p> <p>策定の趣旨・期間・施策体系・大きな議案としまして、基本目標、基本的な方向に基づく施策の取り組みで基本目標ごとに1・2・3・4とまとめさせていただいております。</p> <p>最後に総合戦略の進行管理ということで記述をさせていただきました。 まず1頁目、基本的な考え方のまず趣旨のところでございます。 これは前回基本的な本市の総合戦略の策定の考え方というところでお示しさせていただいたものを再掲しています。</p> <p>計画期間はご案内のとおり27年度、本年度から、31年度までの5カ年としております。</p> <p>2頁の施策体系としまして、先ほどの人口ビジョンからの見える課題から最終的に総合戦略に結びついていくものを少し図式化させていただきまして、見える図とさせていただきます。</p> <p>3頁以降が今度は具体的な基本目標ごとのいわゆる具体的な方向性・数値目標・KPIで、施策ということで記載してございます。</p> <p>構成としましては、基本目標と基本的方向性を記述させていただいたうえで、その大きな目標に対する数値目標を2つ、数値目標と幸せ実感指標を設けさせていただいております。</p> <p>4頁にうつりまして、基本目標に対してなのが、それぞれ施策として今まで主な施策としてあげさせていただいております。</p> <p>例えば1つ目の「活力ある地域の再生」について、前回の骨子では「ふるさと団地の再生」でしたが、名称が変わっております。活力ある地域の再生で具体的な課題・施策の展開、それに対する業績指標・取り組み内容ということで、具体的にどんなことをするのか記載させていただいております。</p> <p>これが基本目標1～4までそれぞれ続くわけです。</p> <p>本日お配りさせていただきました概要版では、人口ビジョンのところにも再掲しておりますが、基本目標の方向性や課題、文章的なところは省いております。</p> <p>最終的には目標で数値目標は何なのか、主な施策は何があるのか、具体的な施策の展開、それぞれの施策の取り組みは何なのか、そういった一覧表にまとめさせていただきました。これを使って少し説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>前回のその目標設定については骨子でお示ししたとおりでございます。</p> <p>基本目標の1番目は「良好な住環境を維持創出し、住みよさを実感できる街をめざす」ということで、活力ある地域の再生から住環境の整備まで、住環境の整備を骨子から追加させていただきました。3つの主な施策ということであげさせていただきました。</p> <p>活力ある地域の再生につきましては具体的な施策の展開として2つ、ふるさと団地再生計画の策定として、世代交流交付金の活性化をはかるとともに、住み替え住宅の流用化、若年世帯の流入促進を推進します。</p> <p>もう一つ、親元近居制度を含め、新たな子育て世代の転入・定住促進支援をします。具体的な方向を示す、施策の展開を示すということで提示をさせていただいて</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>おります。</p> <p>取り組み内容としましては、ふるさと団地再生計画にもとづく、ふるさと団地の再生プログラムの展開をしていく、これは新規でございます。</p> <p>空き家・空き地の流通促進策の展開をしていく、これも新規でございます。</p> <p>子育て世代を対象にした流入促進策を展開していく。これも新規です。</p> <p>親元近居助成制度の利用促進、これは継続案です。</p> <p>これに対する、KPIは生産年齢人口比率をあらわしていきたいと。</p> <p>この資料を送付するときにご案内させていただきました、KPI重要業績評価指標につきましては、項目としてはあげさせていただいております。</p> <p>数値につきましては精査ができておりませんので、今後数値の確認をとりまして、目標設定を含めて、最終の成案の段階でお示しできたらなと思っております。</p> <p>KPIにつきましてはこういうものはまだ足りないとか、これはいらぬとかいうご議論をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>時間の都合もございますので、細かな部分につきましては説明を省略させていただきます。</p> <p>それぞれ基本目標2、基本目標3、基本目標4、と順次掲載させていただいておりますので、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>最後に冊子に戻り、最後の24頁に、総合戦略の進行管理ということで、当然検証を行っていく必要があるということを書き記述させていただいております。</p> <p>その中で市民あるいは事業者等々対象としましてアンケートを実施しております。アンケートの結果概要については前回お配りさせていただいたと思っておりますけど、そのアンケート結果を十分踏まえながら検証をはかっていくことが必要であるということで掲載をさせていただいております。</p> <p>まだ確定しておりませんが、総合戦略を冊子としてまとめる段階で資料として添付する必要があるということは検討しております。</p> <p>継続的に効果検証を行っていきたいということで記載をさせていただいております。</p> <p>以上、簡単で申し訳ございませんが説明とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまご説明をいただきました、人口ビジョンそれから総合戦略それぞれの素案につきましてご説明いただきました。</p> <p>総合戦略を中心に議論をしていかないとはいけません、その前に前提になります人口ビジョンもでございますので、もしそちらにつきましてご質問ご意見ございましたら、いただければと思います。</p> <p>2060年には11万人を越したい、それから毎年1,000人の子どもたちが生まれるような、そういう街にしたい。それから人口移動という点ではほぼ差し引きゼロという、それぐらいの目標でもって進めていきたいということで話がございました。</p> <p>合計特殊出生率でいえば今の1.3ぐらいから、2くらいまでいかないと持ちませんが、とにかくそれを頑張るということです。</p> <p>この人口ビジョンで目標の設定でございましたが、大きな前提ですので、こういう目標をたてたということです。</p> <p>しかも国の目標に従っているということなので、いたしかたないかなとは思いますが、</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>もしも何かご意見、ご質問ございましたらいただいで参ればと思います。よろしくお願いいいたします。</p> <p>出生数を1,000人維持するという数字が大きく見えるなか、エリアによって、この地域は何人ぐらい子育てできるなど、数の細分化はできているのでしょうか。</p> <p>もしくは各施策によって、この子どもに支援すると何人ぐらいで、としないと今のお話を伺うとたくさん施策がありますと。それをひっくめて1,000人というところが、分解していかないと、ほんとは効いているもの、効いていないもの、今後出てきた時に修正がきかないと思うのですね。ここから細分化したされているような検討がまずなされていますか。または、今後なされますかというところでお願ひします。</p>
会長	<p>事務局で意見等ございましたらご説明よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>骨子の時にも書かせていただきましたが、現実的には細かな数値を設定しにくいという状況もございました。その中で、どういう数値をおけばいいのか、市の子供・子育て計画が策定されております。</p> <p>この部分で、27～31年の5年間で、出生の推計値4,986人という計画をしております。ここ数年のその傾向も約1,000人程度で維持していると踏まえた上での計画策定でございます。</p> <p>地域別というような詳細なものではなく、結果としての数値をとり、一つの実績値としてみまして、この継続している約1,000人程度の出生数を継続していけるよう目指したいと考えております。</p> <p>ご指摘のような細かな施策に連動して、これをすればこういう人数というような構成はいたしておりません。</p>
会長	<p>ということで、ご希望願っておられる。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>すいません、同じような質問で、資料の見せ方についてです。</p> <p>11万という長期目線、これは先ほど議長からのご指摘にもありました国の指標、ガイドラインですね。1,000人というところでききますと、1.3人を2.いくつという、現実離れた数値です。ここの方策は5ヵ年計画なので、5ヵ年のマイルストーンとして、出生率1,000人というのは、そんなに難しいハードルではないのかなというふうには思います。しかしいきなり1,000人を11万人とすると2060年は先すぎますので、5ヵ年のマイルストーンでそこから展開していくように考えていただければ、もう少しわかりやすいのかなと思ひました。</p>
会長	<p>人口ビジョン、2060年で国の方針でもありますが、それはそれとして、総合戦略は5年間ですので、それに向けて、具体的にどのように落とし込んでいくかということで考えていただくと、もっと確からしいというか、もうちょっとわかりやすいものになるかもしれないとご指摘をいただいたと思ひます。説明のつきやすい数字にしていくことも大事であるかもしれません。その他いかがでしょうか。</p>
会長	<p>それではまた人口ビジョンはお気づきになられたら点ございましたら戻っていただいでということで、よろしいかと思ひます。</p>

発言者	発言内容等
	<p>本日のメインでございます、総合戦略素案、こちら大きく4つの基本目標、柱がたつてございますので、これにつきまして順次ご意見をいただいで参ればと思ひます。</p> <p>これもあちこちいたりきたりということにいずれなろうかと思ひますので、まずはお手元の素案、それから本日概要版というので、A3横長のものをいただいでございます。その1頁目の開き、基本目標、良好な住環境を維持創出し、住みよさを実感できるまちづくりをめざす。この頁あたりからまずご意見、あるいはご質問いただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。もちろん必要に応じて人口ビジョン等々に戻っていただいても結構でございますが、一応前に進ませていただくということで、基本目標1あたりからですがいかがでしょうか、ご意見、ご質問いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>目標が4つあって、それに対する施策が17出ていて、見ていた時に思ったのですが、いずれも費用的には相当かかるものが多いという印象を受けました。</p> <p>この17の施策というのは、現状の川西市さんの予算のなかで十分捻出できる実現可能なものなんでしょうか。それとも実際の現状の予算で難しいものがあったり、取捨選択しないとイケないものであったり、プライオリティを明確に取り組まなきゃイケないものなのか、十分実行可能なものであれば、全部やればいいのですが、その辺のところはわからないので、教えていただきたいと思ひます。</p>
会長	<p>それでは事務局よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>我々で、総合計画を持っておりますので、総合計画を具体的に達成していくためにはどうあるべきか、毎年来年何をするのか方向性を決めます。</p> <p>そういうものを踏まえて総合戦略そのものが、総合計画をより重点化したもの、構成立てと考へています。ベースは総合計画でございますので、その中で実行性を求めていき、実現可能なものを想定しながら、取組内容についても、新規と書いているものも含め、やっけてけるものという方向では動いております。</p> <p>現実的にはまだ必ず担保されているものではございませんので、やっけていくべきものという考へ方の掲載も含まれてございます。</p> <p>新規以外は現状進めてるものであり、新規は特にそういう要素で少なからず、確実にこれが100%ではないということになります。</p>
会長	<p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>事前にいただいでいた素案をこの前からずっと読ませていただいでいたのですが、すべての項目につきまして、KPIですね、指標の現状値と目標値が具体的に入ってまして、非常にわかりやすいです。</p> <p>項目がそれぞれ数値であらわれていて、そこまでもつていきますよと、具体的でわかりやすいと思ひました。</p> <p>今は概要・素案の段階での概要ですから、そこまでということかもしれませんが、主な施策の項目もかなり多いですし、取組内容が具体的な施策の展開ということで細かく取組内容が書かれています。これを川西市の総合戦略で今後やっけていきますというところなのだと思います。</p>

発言者	発言内容等
	<p>素朴な疑問で申し訳ありませんが、素案の一番後ろの24頁、進行管理・取組内容の細かいところは、どなたが、具体的に、どう進めていかれるのでしょうか。</p> <p>PDCAとよく言われるのですが、進めていくこの進捗管理も、どなたが管理されていったりとか、進捗度合を見ていかれたりとか、チェックされたりとか、その数値に途中で達していなかったら、修正していくのか、もう少し先の話とはなってくると思うのですが、具体的には誰がやるのかなと思ひまして。</p> <p>先程のお金の面もそうですが。まだ概要ですから、そこまではと思ひますが疑問に思ひました。</p>
会長	<p>それでは進行管理の中身について少し事務局からご説明いただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>進行管理書いておきながら、具体的にどのような形でお見せできて、確認いただくか、未確定です。</p> <p>基本的には、まずPDCAといいますか、検証が一番大きなものがKPIです。</p> <p>KPIがどれだけ達成できているのかが、国も重要な要素としています。</p> <p>これを必ずおきなさいとなっておりますけれども、その指標がどれだけ上がったのか、下がったのか、当然あがっていかないといけない部分があがっていかないといけません。目標が達成できたのか、まずそれが大きなひとつの検証の部分だと思ひます。数字等のチェックは当然我々が行います。どのような施策をどのような形で起こすかが連動となってこようかと思ひます。</p> <p>どんな形で資料をご用意させていただきかわかりませんが、まずはそのKPIを中心としながら、達成度に対する施策は何をしたかをご検証いただけたらなど考えております。</p> <p>それは事務局で、庁内の取りまとめをして、最終的には、部内ではなく、客観的な評価という形の中で、この推進会議を必ず年に1回開催させていただいて、数値的にこうなりましたという資料として提示させていただいて、検証していくことを考えております。</p>
会長	<p>だいたい、イメージは沸いたのでしょうか。また細かいところは別ですが、総合戦略については毎年の進捗管理、数値目標、KPIを別にして進捗度を庁内で把握され、それをベースにしてこの推進会議で客観的に見ていただいて、その結果をまた反映させて、計画の修正、あるいは新たな施策につなげていくというイメージでお話いただきました。内部と外の目、両方合わせて、チェックしていくことになります。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>こちらのいろんな施策がありますが、これを推進していく上での、カウンターパートナーというか一緒に進めていく団体などは、特定されているのかという質問です。</p> <p>例えば今回大学の連携先として参加しております、健康づくりの推進の中の、こちらの健康体操の普及というところで、本学では、健康体操をまず作り普及活動というところで教員も去年も今年も関わらせていただいております。</p> <p>でも実際に、どれだけの市民の方が参加されたかでご報告いただいているないので、割とその体操を作って普及しているのですが、それが順調にいつているかどうかがいまいちわかりません。</p>

発言者	発言内容等
	<p>他には、基本目標の空き家空地の流通促進、これ全国的な行政推進でやっているところではあまりうまくいっていないケースが散見されています。</p> <p>一方で尾道であるとか、小倉であるとか、NPOであるとか、そういう市民団体から生まれているほうが若い人を巻き込んでできているケースがあります。</p> <p>シンプルに言うと、市の職員方とか予算限られているなか、いかに川西市の市民の活動を巻き込む、もしくは生み出すというところがないと、これだけの数をなしえないと思われるなか、そういったカウンターパートナーも目処であるとか、この部分がたりないからこういうものを設定した方がよいというような検討はされているかお伺いしたいです。</p>
会長	事務局いかがでしょうか。
事務局	<p>いろいろなご指摘をいただきましたが、大学も含め、いろいろな団体との連携ということのご指摘でございます。</p> <p>総合戦略の話の前に、総合計画とも重なりますが、第5次総合計画というかたちで、10年間の計画を作っておりますけれども、基本的なスタンスが参画と共同のまちづくり、市民団体、NPO含めましていろんな団体と手を携えてやっていかないといけないと考えております。</p> <p>それぞれの施策を行っていく中で、どういうものがパートナーシップとして考えられるのか、それぞれ担当が意識して事業展開をしている状況でございます。</p> <p>総合戦略作っていく時に、大きく想定している部分ではありますけれども、個々に限定してというところでは今のところ特定しておりません。</p> <p>ご指摘のなかで、健康づくりのところでご指摘いただきましたけれども、そういうところは幅広く大学連携、協定もさせていただいている関係で、やっていかないといけないということで個別にさせていただいている部分でございます。</p> <p>そのなかで、空き家空地ご指摘をいただきましたけれども、今後の展開と書いておりますように、これから具体的にどうしていくのかは、これから決めていきたいと思います。</p>
会長	はいどうぞ。
事務局	<p>この表の中の具体的な話で質問です。</p> <p>歩いて暮らせるまちづくりということで、自転車道整備計画策定新規とあります。私も最近アシスト自転車を購入しまして、非常に自転車が走りにくい街が多いので残念なのですが。</p> <p>片方で、バスに乗りましょう、バスの利用者の割合を上げていきたいと思いますというのと、この自転車を活用して健康づくりをしましょう、なるべく自転車に乗りましょうということで、バスの利用者数が上がっていくのかなという、非常に単純な疑問なのですが、どう思っているのでしょうか。これをどう考えているのかなと質問させていただきます。</p>
会長	では事務局よろしくお願ひします。

発言者	発言内容等
事務局	<p>まずご指摘いただいた1点目、バスの公共交通の利用という部分でございます。施策、具体的な施策の展開の1つ目にありますが、高齢者、子育て世帯と書いています。特に地域内公共交通、一定の地域、地域内、大きな路線バスを含めてそれ以上に地域内、大きな路線バスが走らない地域、買い物が不便である、公共交通利用を含めて、全体に考えていかないといけません。</p> <p>大きな意味での施策が根底にあると思います。</p> <p>もう一方で、兵庫県も自転車によるまちづくりを検討され、健康づくりの視点もいれていることを含め、有効に街づくりに自転車の活用を図っていきたいと思っております。同じところに入れていますが、目的は違うところで考えております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>この地域総合戦略というのが何かということが自分でもよく腑に落ちてないところがあります。</p> <p>たぶん求められているのは、地域住民が何か商売やりだす、何か事業を起こしていく、そんなことが求められているのであって、市民や事業者・労働者、みんなが納得するものをつくる必要があるという気がして、それは総合計画があるのではないかと思います。</p> <p>1つか2つの何かシナリオが実現するような戦略を立てたほうが良いと思います。</p> <p>これは自分が関係すると思わせるようなものに仕上がるのではないかと思います。検討の時間が短いのにそんなことよういふと思いますけども。</p> <p>例えば非常に住環境のよいニュータウンがあって、そこに働いていない主婦がいっぱいいて、そういう人たちが何か小さいけどもビジネスができて、一生そこで安定して大儲けはできなくても、お金儲けをしながら安心して老後が暮らせるシナリオがあれば。やっぱりあの阪神北の総合戦略で挙げられている、その名前がひとことも出てこないですけど、北摂里山なんとか構想ってありますよね。</p> <p>そういうことも、やっぱり日本一の里山をこれからも生きた産業として守っていくのだと。ということは、新しく炭焼きする人が出てこないといけないし、新しく森林の管理やる人が出てこないといけないわけで、そういう人を入れていく、日本一の里山を100年後も日本一の里山でいくとかいうような。</p> <p>1つ2つのシナリオが実現する、そのシナリオには黒川の人が自分らも頑張らないといけないと思えるような打ち出し方が実は求められているのではないかと思います。</p> <p>市として出すものだから、100人のうち、20人が良いと思うようなものも80の人からは文句はあるわけで。</p> <p>川西市は詳しく関わってないのですが、例えば大和団地の『だいわん』の方が頑張ってはったり、黒川の人が頑張ってはったりとか、とても元気な人がいっぱいいるなというイメージがあります。</p> <p>川西市さんは多分そういう事を把握しているので、そこに上手くいけばシナリオがのるのではないかと思います。</p> <p>そういうシナリオを組んで、私も当事者だと思わすような戦略にしたほうが良いと思いました。</p>
委員	<p>今のお話の続きになると思うのですが、私は地域の代表ということで今年度か</p>

発言者	発言内容等
菅原副市長	<p>ら地域分権ということが始まりました。</p> <p>これはその地域で何がやりたいかということから始まっています。</p> <p>市には大きな目で枠を決めていただいて、実際は我々、地域の住民が動きます。</p> <p>市の方々が言ってもしかたないので、我々として地域のために何しようかということであれば、定住できるわけですから、今おっしゃっていたように地域で考え地域の安全とか環境考えるのが当然なので、そうやっていけば、その大きな積み重ねが、市のひとつの形となると思います。</p> <p>地域分権で13コミュニティのなかの、9コミュニティがもう始めているということは半分以上がそういう意識を持っているということです。</p> <p>ここに出てくるのは我々が計画しているのとあまり変わらないものが出てきています。よければ他のコミュニティのものを見てもらえばわかります。</p> <p>バスをどうしようっていうのも始まっていますし。</p> <p>これは変な話、市がもっと住民を信頼してもらって、こういうものがあるという材料を提供してもらえらるということ。</p> <p>今まではあくまで市が何をしてくれるかだったのですが、我々のために何をすべきというところから始めていかないと始まらない。そういう建前でやっていったら、地域分権のそういうものが出てきるので、そうするとお金の問題もでてきます。</p> <p>補助金であれば、使い切らないといけない、少ない。</p> <p>ところが今、交付金になりますとこれがプールしながら3年かけて大きなものを作ろうということが出来る、我々の今度考え方でやれる。</p> <p>地域の中にはいろんな方、能力を持った方がおられます。</p> <p>それをまずは発掘して行って、それでNPOを作ってその地域を活性化していけば、となりの地域も活性化していくということ。やはりひとつの地域が小さいものから大きく広がっていくような、水たまりじゃないけど、石を投げて波紋が広がっていくような形につくらないと、さあ市がやりましようだと、津波になると思います。</p> <p>揺ると津波になりますから。水に波紋を広げるような形でやれるところから地域がやっていければ、こんな大きなものを考えなくても一個ずつ進めていければ、何かできあがるということ。</p> <p>我々の地域でも何か商売したいなということで考えている人もいらっしゃるのですね。それを始めていくために何をやっていけばいいのかがわからない。</p> <p>それを我々が独立してやっていければ、アドバイスしながら市と協力してやっていくのではないかと考えています。</p> <p>これを進めていくのは動くのは各地区の市民、住民だと私は思っています。</p> <p>だからそれが動かない限りは、計画は前に進まないと思っています。</p> <p>まさに今おっしゃられたとおりに思っております。</p> <p>それで私、前回は申し上げたのですが全体を通して元気な高齢者の視点が全くないというのはおかしいと申し上げたと思うのですが、</p> <p>結局ですね、高齢化が進んで行って人口が減っていく、ただニュータウンなので、建物はあるわけですね。どんどん密度が減っていくということになると、商売での成り立ちが難しくなるところが出てくると思います。</p> <p>その時に自分たちの生活の利便性なり、住みごちを支えるのは最終的にはそこに住んでいる人たちであって、その中の大部分が定年退職をされた方が担うようなシステムをつくっていかないといけないと思っています。</p>

発言者	発言内容等
	<p>先ほど儲からなくても良い、損しないような、その中でうまくやったら小遣いができるようなことを、市として支援していく方法は何かというところで、例えば起業支援をワンパッケージで受けられるような、これからは要るのではないかと考えています。</p> <p>もうひとつは、実は川西市の企業数というのはかなり最近増えてきています。</p> <p>かなり大きいのですが、商工会の会員は増えているかというところではないです。個人起業は結構増えていますが、そこがうまく表にアピールできていません。</p> <p>一方で我々のタウン誌に特集してもらいましたけれど、自分の自宅を改装されて、街角ショップをされたり、いわゆるカフェ、レストランをしたりしている方も結構増えてきています。これがたくさんその街にできれば元気な街になるのではないかと思います。そして地域の方たちが、何らかのかたちでその地域のために役立っているという自覚をもてる社会をつくるのが、再生になるのではないかと思います。</p> <p>前回そういったことを言いましたが、入れていただけていないので、ぜひ入れてほしい。私が言うのも変ですが、そう思っています。</p>
会長	<p>ずいぶん重要なご意見をいただきました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>全体的に、前回の会議でも出ていたと思いますが、新しいものを作ろうという、発想とか制度上、工夫して魅力ある制度を求めていくというのは、新しいものをつくろうという発想のもうひとつ横で、川西市の良さをもっとPRするということです。</p> <p>私、住んでいるのは伊丹市なのですが、川西市で働いて20数年になります。</p> <p>川西市というのは住みよい街やと思いますし、観光資源もある、ベッドタウンとして最適な街ですし、商業施設もあるし、いろんな意味で魅力いっぱいの街やと思います。</p> <p>そこをPRしきれていないとそんな感じをうけていまして。</p> <p>今あるものを、もっとこうPRしていく。川西はこんないい街で、こんな施設もあるよ、制度、交通機関もあるよということをもっと外向きにアピールしていく、そういった視点も重要じゃないかなと思いました。</p>
会長	<p>シティセールスとか、シティプロモーションとかいろいろブランディングかもしれない。そういうご指摘をいただきました。いかがでしょうか。いろんなところに話がとんでおりますので、どこからでもよければお話いただければと思いますが。</p>
委員	<p>先ほどから同じような話の繰り返しで恐縮ですが、取り組みは非常によくできていると思います。それから皆様の想いのところが、あちこちにみられるなというふうに思います。たぶんこれは国に対しての話と、それから住民に対しての二面があるのだと思います。</p> <p>これに対してはKPIだとかこれでいいと思います。</p> <p>先ほどの重要な意見ですけども目玉とか、キャッチフレーズだとか、先ほど地域の力の結集だとか、外へのPRだとか、例えばふるさと団地再生計画だとか、きんたくんだとか、健康幸せまちづくりだとか、ぴんぴんころりの街の事例もあると思いますが、そういうキャッチフレーズで外に向ける。あるいは地域の力を結集するためのキャッチフレーズ、そういう工夫で頑張っていたいただければと思います。</p> <p>ひとつ時間のない中ですが、非常に目を引いたきんたくん、これってどういうものなのか簡単に教えていただければありがたいなと思います。</p>

発言者	発言内容等
会長	それでは事務局お願いします。説明が足りないかもしれないので。
事務局	きんたくんでございますが、市のマスコットキャラクターということで、市ではきんたろうをモチーフとした、これを活用した市のPRを展開しているところであります。
会長	ひょっとするとあまり知られていないかもしれないということで。
委員	<p>私たち委員に、何が一番求められているかよくわからなくて、とても何を発言しようかと悩んでいるところですけども。</p> <p>どれくらい細かい具体的なところまで示されているものに対する意見を述べたほうがいいのかよくわからないなと思っています。</p> <p>例えば、KPIのところにてているようなものでも、今の数字というのはどこまで出ているものなのか、これまでの、今後のビジョンでなくて過去のビジョンを知らないもので、比較のしようが私はないので、それが今までの数字に比べてまったく無理な数字なのか、まったく新たな数字なのかも全然わからないなかで、先ほども同じ言葉が何度も出ていたと思うのですが、川西ICを活用すれば、IC一つできるだけで魅力の創造発信もできて、若者の仕事も増えてと書いてあるのですが、どうしてICができるだけで、そんなにポジティブに楽観的に若者に仕事も増えるし観光客も増えると言い切れるのか根拠みたいなものもこの中には出てこないもので、これまで関わっていない私にはあまりよくわかりません。</p> <p>なので、例えば発信ということに関しても観光客による入れ込み数も、これまでのもの存じ上げていないし、それを何点で年間何回というのを、数字をカウントされているのかでしょうか、それに比べて今後その入れ込み数を、どこをメインとして増やしていこうとしているのかとか。その入れ込み数も統計の取り方も今後どういう形で正確な数字を把握して、地元の人が動いているだけなのか、それとも外部からの人が入ってきていて交流人口が増えているのか、そのうち何%をインバウンドに向けたか、具体的なものがほとんど書かれていないので、本当に私の、自分の専門分野に関して何を発言すればよいかよくわかりませんがいかがでしょうか。</p>
会長	各委員に何が期待されているのか、今のような意見も期待されているのだと思うのですが、あれもこれも何でもいいという気がしていますが、事務局にふってみたいと思います。
事務局	<p>正直ながら我々がつくる総合戦略というものでは、大きな枠で書くので、そういう意味で抽象的な部分が多いかもしれません。各委員にお願いしたいのは、お知恵を拝借したいというか。</p> <p>たまたまインターチェンジの話がでましたが、こういう視点を持たないと今後総合戦略というものをやる意味ないよねというご意見をお聞きしたいです。</p> <p>当然すべての取り組みを我々が引き受けることができるかは最終の問題になります。しかしこういうことを発信していくのだったら、こんな視点をもたないと駄目で、こういうことが必要ですというような意見をいただければと考えています。</p> <p>こういう取り組みを具体的にやらないと繋がっていかないということであれば、それを含めて事業として想定していかないといけないと考えております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>この形だけをみてということではございませんので、こういうことしないといけないよねというようなことで我々としては十分参考となりますし、逆に最終的に成案をつくるなかで、盛り込んでいく内容も出てこようかというふうに思います。</p> <p>数値につきましては、KPIを設定するなかで、我々が把握できる客観的資料から、ひろいあげることができません。例えば観光客入りこみ数は県が統計とっていて、その数値をもらう形になります。その辺で新たに、例えば今ご指摘いただいたICに何かできて、そこに交流人口が何人で、と統計をとるかどうか、今の段階では正直取れますとも言えない部分がありますので、確実にわかるもの、ということで指標を設定しているわけであります。</p> <p>数値については若干分かる部分は冊子にもいれていますが、現状値まではわかっているところもありますけれど、目標値につきましては、あらためて5年間の取り組みの中で担当も含め、提示をさせていただきたいと思います。</p> <p>まだ精査ができてない状況で申し訳ないのですが、成案の段階ではきっちりとお示しできればなと思います。</p>
委員	<p>わかりました。例えば県に依存する時点でそれはどうなのかと私は思いますけども。</p> <p>地元の方たちに、どういう人たちに川西に来て欲しいと思っているのか、ターゲットも定めないで、どこにどうアピールしたいのかというのわかりませんし、ただHP等で、川西どうです！と書き続けてもそれではまったく人は来ませんので、今後そういう戦略を立てる上である程度、ターゲットを定めて、ICをメインだと考えていらっしゃるのであれば、車で動く世代なのかと、車で川西を訪れる世代にターゲットを絞ってですね、じゃそういう方たちにむけてどうなのかとか。川西を最終目的地にしてくる人はほとんどいないと思いますので。</p> <p>兵庫県内ほとんどの市、私も色々行っていますけれども、近隣の観光客が7割強くらいですね。イベントの参加率からいっても。</p> <p>神戸でさえ8割近くが近隣、関西圏からしか来ていないという数字もでていきますので。ホテルがあれば、宿泊数である程度県外とか遠方のニーズが把握できますけれども、そういった宿泊施設も少ないところでどこまでが、市民の人が同じ人が何回もただICを使っているだけなのか、ほんとに観光客が増えているのか見えてこないですよ。</p> <p>近隣の他の地域もそうだと思うのですがでもご提案することができるかとすれば、やはり広域連携をするなかで似たような条件のところ、あるいは川西はICができて便利になったらどこに移動するだろうか、あるいは近隣のどの市から遊びに、例えばICもできて道の駅とかいいところあるかもしれないと来てくださるのがどこになるのか、双方の何かしら連携事業も、具体的に考えていくとかできると思います。</p> <p>こんな漠然としたものではなくていくつか、こんなICの具体例を挙げるのであれば、その先のプランももう少し具体的に示されるほうが、市民にもわかりやすいと思います。ICができれば仕事が増えますと書いているが、私はそうは思えません。</p>
会長	<p>それぞれの、大きな施策の枠組みのそれはそれとして、何を狙って、誰にどんなふうに働きかけて、必ずしもクリアには出てこない。</p> <p>一般的にみんなに頑張らましようとか聞かえない。</p> <p>おそらくそんな印象しかないということであると思います。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>まだ、素案ですので、期待はありますが、このままでいくとちょっとというご意見をいただいたと思います。</p> <p>この辺は事務局でもしっかり考えていただければと思います。</p> <p>先ほど副会長からもあったが、どういうふうメリハリ、優先順位、あるいは市民なり、あるいは関係しておられる方々が我がことだと思って動いてもらえる計画と、実際に使えるものになるか大きな分かれ目となるので、考えていただきたい。</p> <p>関連してその他いかがでしょうか。</p> <p>どの項目でも中身の素案のことで恐縮なのですが、いただいたぶんの21頁、就労支援の充実というところがありまして、目標値は精査をしてということですが、黒丸でなく数値が出ているので、川西仕事サポートセンターというのは、ハローワークと川西市が協働で運営している事業でございます。</p> <p>24年度から実施してきていて、年間1000件程度の就職で推移しています。</p> <p>景気のよいときでも1000件くらいで推移しています。</p> <p>今年度は、若干下がる可能性がございます。というのも求職者が減ってきております。このペースで5年後かわかりませんが1400件というのは非常に厳しいかなと私は思っています。</p> <p>大きな目標を立てて達成できなければいいですよということであればそれでかまいませんが、達成することが目標であれば、もう少しここはハローワークも交えて、一度議論させていただきたいなと思います。</p>
会長	<p>ぜひしっかりと議論していただきたいと思いますが、逆に本当に求職件数が増えることがいいのかどうか。ここも難しいと思います。</p> <p>仕事とか、皆さん方の働き方とか生きがいにも関係すると思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>全体的には同じような意見で、先ほども、おっしゃったことがそうだなと思うのですが、全体の総論というか合意を得ようとする、これだけたくさんをしないといけないのだから、感じる伝わるレベルにしていこうと思うとよりメリハリ、より明確にメッセージになるものにしていかないと、なかなかあれもこれもとなってしまうなと思いつつ。たまたま一番上にある、親元近居助成制度、新規で書いてあるのですけれども、ネットで見ていると現状ちょうど9月30日が締め切りで120件目標とされていますね。ネットで見ただけですが、これ実際申し込みはありますか？</p>
事務局	<p>はい。直接担当課ではなく、数字は把握していませんが、基本的には予定通りの件数の申し込みがあったと聞いています。</p>
委員	<p>ただその検索でこのキーワードを入れると、東京も含めいくつかの同じことができて細かな条件があつて、1件20万円までと。</p> <p>どこよりもすごく、全国で一番ここまで優遇していると伝わるレベルでやることによって、初めて売りになってきます。僕はたまたまいいなと思ったのですが、何か伝わるレベルという部分はいずれにしても大事だと感じています。</p>
委員	<p>非常によくできていまして、いいなと思いつつすべて眺めている状況ですが、先</p>

発言者	発言内容等
	<p>ほど話ができましたように商工会では組織率が下がっています。昔は50%以上商工会員だったのが、今では36%くらいまで落ちこんでしまいました。</p> <p>ただ事業者はどんどん増えていて、目に見えないところでたくさんお商売されているというのが現実です。表立って小売業とかが結構廃業がたくさんありまして、見た目は閉まっている、シャッターもある。</p> <p>先ほどハローワークさんお話しがありましたけれど、例えば1400件の求人をこなすのは難しいです。</p> <p>私はシルバー人材センターの役をしていまして、同じような発想で在宅の女性の能力をもった方がいらっしゃるので、その方々に仕事を提供できる組織を作ったかどうかと思います。いろんな企業とか行政とかをまわって、仕事をとってきて、それを地元の女性の在宅でできるような発想があります。</p> <p>例えば、企業に属さないけども、うけてきた企業のどういうかたちなのかかわかりませんけども能力を持った地元の主婦層に、パソコンの業務だとかデザインだとか、仕事を幹旋するような事業が、できあがらないかなと思っています。</p> <p>商売人、事業者なので、人口が増える、そこでにぎわいができて消費が生まれる大前提で、交流人口と定着人口が増えることが良いと思います。</p> <p>その中で特に定着人口が、減り気味というのは事実なので、昔開発された大和団地とか、多田のグリーンハイツが非常に高齢化も進んで空き家が増えています。</p> <p>実はPTAも10年やっています、子育て世代が一番興味あるのが、教育力です。他市よりも優れた教育ができるエリアに住みたい、子どもを連れて定住したいという思いの保護者が非常に多いです。</p> <p>そのなかで、総合戦略特区というのを作って、例えば2つの開発された団地の小学校なり中学校なりが、優れた教育ができる環境を整える、例えば土曜事業であったり、塾との連携であったり、いろんな他にはないような教育環境を整えて、住みたい人を生み出す。そこに住みたい人が増えれば当然家がいるということになります。</p> <p>空き家を第3セクターが借り上げて、改装してある程度住みやすい値段で提供するとか。高齢で都市部に移りたい方の、リバースモーゲージ、地価が下がっているので非常に難しいと思いますが、その範囲内で高齢者が駅地下に移られて、どこかの企業、3セクが借り上げて、そういう魅力の中で住みたい方を誘致するといえますか。</p> <p>だから、基本的に街づくりがうまくいくためには稼ぎ出す世代が定住して、税金を収めていただくことが大前提なので、それをうまい具合に好循環にもっていくためにはまず地域に魅力がないといけません。</p> <p>それは何かというとたぶん、子育てと保育じゃないかなと思います。</p> <p>例えば川西ではありませんが、うちの営業所は福知山にあって、その女子社員で、優れている者がおるのですけども、子育て中です。</p> <p>うちの会社は、土日は休みですが祭日には業務があります。</p> <p>今まではご主人と共働きで、ご主人は祭日休みだったため、子どもさんを見ておられました。</p> <p>ところが転職されて、祭日が業務になりました。有休を使って全部休むと、まったく身動きできなくなると相談があり、会社側としては譲歩しないといけない状況ですが、福知山に保育は平日にはあるけど土日はありません。</p> <p>川西のことはわかりませんが、例えば高齢の方がたくさんいらっしゃるのであれば、そういう方々の能力を、駅前で保育の特殊な事例に対応できるような場所をつくって</p>

発言者	発言内容等
	<p>あげて、夫婦共働きの人を働きやすいようにしてあげればよいと思います。今待機児童が何人とか言われていますが、そういうことも一つのテーマではないかと思ひます。</p> <p>まず花をつくって、アドバルーンを上げて、そこに住みたい人を惹きつけるということ。そこに経済はうまくついてきて、好循環に向かうのではないかなと思ひます。以上です。</p>
会長	<p>色々ご示唆をいただきました。まずは若い人たちをどんどん惹きつけるような子育てや教育の環境、そして人口増に伴って、経済が発展していくような、サービス経済もふくめて、大きな転換、それが成熟化した団地の再生にもつながる。</p> <p>そういうストーリー、お話をいただきました。関連して、あるいはその他でも。</p>
委員	<p>今回委員に入れていただいたのは、当事者というのもあるのかなと。近い三田に博物館というのがあってその者なので。</p> <p>先ほど言っていた、100年後も日本一の里山をめざすという時にそういうものが戦略の大きな柱になってきます。人と自然の博物館を利用するというのも十分考えられる。</p> <p>日本一の里山と言ひ出したのは、前館長の岩槻先生であり、一緒に言っていた服部先生は今、川西の教育委員をされているという位置づけでありますので。</p> <p>総合戦略打ち出した時に、博物館が外向いているというわけもないし、里山という、自然環境というの、人が人と共生の最たる形であつてと思ひますので、そんな意味もあるかなと思ひました。</p>
会長	<p>ぜひ、うまく使ってください。</p>
委員	<p>意見については出尽くしたと思ひますが、総合戦略の概要、素案については、本来出すべき課題を、よく見ておられると思ひます。</p> <p>それに対する2頁、一覽まとめておられるのですが、それに対する課題を出しながら、現実には何ができるか、どう進められるか、新たな取り組み内容をどうするかを網羅されているわけではす。</p> <p>現実的に今この取り組み内容の他に、まだまだやることはたくさんあると思ひます。</p> <p>私が興味持ったのは、基本目標3番の中の、自主的な地域づくりです。</p> <p>最初、委員さんからコミュニティの関係などお話があつたのですが、私ども農業協同組合の中で協同組合活動は、地域のいろいろな活動をやっております。</p> <p>今回も東多田のコミュニティと合同の祭りを地元でやろうと計画をされております。地域の主役は地域の住民です。住民がみんなで集まって、何かをやることはほんとに大事なことだと思ひます。</p> <p>今の高齢化とか若い人がいないということで、昔からの行事とか、祭りも含めて担い手がなくなつてすたれていると、それがさみしいですね。</p> <p>創生のなかで、活性化しようと思えば、地域に住んでいるみなさんが、一人ひとりがここ住んでいてよかつたなど、喜びを感じられるというか、そういうようなことが何か身近にほしい、あつたらいいなど、行政のほうも仕掛けづくり、盛り込んでいただければと思ひます。</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>はいどうぞ。お願いします。</p>
委員	<p>一般的な意見にはなりますが、総合戦略を拝見して、私もよくまとまっていると思います。</p> <p>具体的な取り組み内容を書かれていますので、それを読むとイメージが湧いてきます。しかしもう少し知りたいと思うので、今後これからの部分が多いと思うのですが、取り組み内容の中身についてももう少し我々にもわかるような形の情報提供があればありがたいと思いました。</p> <p>例えば子育て世代包括支援センターとか、新しい施策ですのでこれからのものも多いと思いますが、ハッピーウェディング制度とか、とても面白そうなものもありますので、ぜひ可能な範囲で情報提供をお願いしたいなと思いました。</p> <p>その中でこれだけたくさん施策をうちあげていただいていますし、ぜひそれが進むように、われわれも微力ですけど支援したいと思います。</p> <p>一番大切なのは先程もおっしゃっていましたがそれを外に発信していくプロモーションだと思います。</p> <p>どうしても我々の立場からすると、電鉄会社でありますので、定住や転入、交流人口が増えるということにすごく興味がある部分です。</p> <p>せっかくこれだけいいものを作っていただいたので、定住や転入の促進というような切り口をしっかりとって、その切り口で統一した施策のPRをすれば、効果が出てくるのではないかと個人的な感想であります。感想です。</p> <p>同時にそういうことをやっていると里山であったり、自然の魅力であったりをPRすることになるので、それが交流人口の増加にもつながるといようなものになればいいなと思いました。感想ですが。</p>
委員	<p>本学も川西市に第2キャンパスを設けさせて頂いて、ちょっと大げさなお城までつくってしまっておりますので、川西市さんにお世話になっているなかで、創生総合戦略の策定に何か申し上げられることがあればと思います。</p> <p>私も教育関係者でありながらこういう方面には素人でありますので、具体的な施策をどうこうという資格はないように思うのですが。</p> <p>数値として11万人を長期的にも確保していくということは、素人ながら、ちょっとチャレンジな数字かなと思いました。</p> <p>日本全体で、これからどんどん合計特殊出生率を上げていくことはなかなか難しいと思うなかで、川西市がこの数値を達成しようと、いうふうなことをやっていく場合、どういふことになるか他の市町村から人を奪い取ってくることにならざるを得ないという時に、それでも川西はそれをやるという決意のものと数値なかなと受け止めさせていただいたのですが。</p> <p>その場合、やや大胆な施策が必要なかなと思います。</p> <p>このいろんな計画を進めていくということは、すごく素敵なものが多いが、これやっていっただけでは、11万人到底達成できそうにないと感じています</p> <p>例えば第1子をお隣の例に出して申し訳ないですが池田市で産んだ夫婦が、川西市で、第2子を生んだら100万円もらえるというような変な例ですけど、それぐらいの川西市に住んだらメリットがあるぞ、子どももう1人川西市にいたらもうけられるなというものがあつたら、奪い取ってこれるのではないかなと思いました。</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>高齢者の活用というのを、高齢者を非生産年齢人口としてではなくて生産年齢人口として取りこんでいく視点、里山でそういう方に来ていただいて、もっと活性化していこうとになれば、Iターンを考えておられるような都市部、特に関東、東京周辺等々へのプロモーション活動というのが大胆に必要なようになってくるとだろうし、移住費をある程度こんな風に自分のところで持ちますとか、そういう近いことをやっている地方でそういう、隠岐の島ではないがそういうところもありますので、大胆なやり口で奪い取ってきてこそ、その11万は達成できるのかなと感じます。</p> <p>それをもって11万をやっていくことが日本全体持続可能な幸せな国家としてやっていくという、もっと大きな視点で見た場合に、川西市はこの11万で絶対いくというふうに覚悟をして11万という数値を出しているのかと気にはなったところであります。</p> <p>11万じゃなくても、10万5千人でも、あるいは10万でも、もししっかり持続していつて川西市が幸せということであれば、それはそれでいいのかなという気もしますので、その辺り数値を達成するための、特にこの11万に関しては、もっと大胆なやり方は必要なのかなと感じました。ちょっと感想になってしまいましたが。とりあえず以上です。</p> <p>人口ビジョンとも関連づけて、総合戦略の策定以下、基本的な考え方は、ここは事務局でも整理していただければと思います。</p> <p>基本的には自治体間で人口を奪い合ってもしょうがないので、全体としてどうするのかもう少し考えていかないといけないことはたくさんあるかと思っています。</p> <p>国は勝手に考えろと、合計特殊出生率さえあがっていればなんとか1億人と、地方はたまったものではありません。</p> <p>ただし、よけいな話ですが、全国各地で総合戦略をしていますが、ひょっとするとそのままそれぞれ想定を足すと、人口が2億人になるのではないかと、そういった予想が社会保障問題人口研究所から、ちらっとありましたが、あららと。そういうことにならないように頑張りたいと。その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>総合戦略については兵庫県でも既に策定しており、基本的に、川西市さんの人口ビジョンの考え方も、トータルの数字に関しての考え方は一緒です。</p> <p>まず人口ビジョンの考え方について出生数を固定したうえで、社会増減の部分は均衡するような形でだしておられまして。</p> <p>合計特殊出生率が2.16ですか、ということで非常に高い数値目標になっておられて、兵庫県の場合それは無理だろうということで、合計特殊出生率は2.0台にしておられて、これを社会増減で補う姿としています。</p> <p>この阪神北地域でも同じような形で策定しましたが、阪神北地域の特徴としましては、皆さん言われておりますように、この地域がどこも、全てがベッドタウンというような状況になっておりますし、ホテル等の宿泊施設もないということで、観光とかそういう場合でもなかなかそこは日帰りで帰ってしまうというような状況になっております。</p> <p>兵庫県では、一応その合計特殊出生率を上げるために、何か県としてできることどんなことがあるのかという時に、なかなか県としてできることはなかなか難しいということです。</p> <p>社会増減とか、合計特殊出生率を上げるために、人を呼んでくるということについては県として広域的な面から支援できるのではないかと。</p> <p>ということで各市さんとも、シティプロモーションなんかは非常に大事だと思います</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>が、各市単独でやっても難しいと思います。</p> <p>対外的に人を呼び集めるとか、そういった部分は県も支援していくということが必要かなと思います。</p> <p>ただ、合計特殊出生率を上げるための、子どもをどうやったら産めるか、そこを各市町さんで特に考えてほしいなと思います。</p> <p>この前、宝塚市さんにも言いましたが、宝塚市さんと川西市さんがよく似ているのは若い世代の未婚率が高く、子どもを産み始める年齢が遅いということです。</p> <p>伊丹市さんはなぜか、合計特殊出生率も結構高く、その分析はなかなかできませんが、そこをあげるために女性が住みやすい施策をなんらか、ちょっと目玉となるような知恵を考えていただければいいのではないかと考えております。</p> <p>どうもありがとうございました。広域的な連携で、人の流れを変えていくというような、もうひとつは若い女性の、特に本市の場合には、合計特殊出生率が低いという傾向がありますので、しっかりと原因を明らかにしながら、なかなか個別具体的に子どもを生めとは言えないので、どういう環境をつくるのかをぜひ考えていただければと思います。その他いかがでしょうか。</p>
本荘副市長	<p>今、県からおっしゃっていただいたことはまっとうだと思います。</p> <p>それと1点、自治体側からの率直な意見ということをおっしゃっていただくと、例えば少子化という問題についてももう少しオールジャパンで考える必要があるなという感じがしています。</p> <p>先程、委員さんから個別の自治体のなかで、細かいマクロ施策については考えていくべきという発言がありましたが、私はやや違うなと思います。</p> <p>例えば、乳幼児医療費の助成制度にしても、兵庫県下でも中学3年生まで通院時は無料にしましょうということで、それが競争のようになっていくわけです。</p> <p>本当にオールジャパン、ナショナルミニマムとして考えられるべき政策まで個別の自治体施策にゆだねられてきているという現状を踏まえた中で、自治体のなかでどういう独自性の持った地域づくりができていくのかがやはり求められているので、総合戦略の中で、それがどれだけ打ち出せるのか、これが1700以上ある自治体の競い合いかなと思っております。</p> <p>副会長からもいいご質疑をいただいたのですが、総合戦略の策定を国から言われたときに、いやいや25年度から大部分の総計つくっていますよと。総計のなかでは人口の目標値も入れておりますし、将来ターゲットにすべき政策もすべて網羅しており、あらためて総合戦略ということはないでしょうということです。</p> <p>でもこれはつくらないといけないということなので、ある意味、焼き直しところはありますが、それをベースとしながら、いかに新しい政策を生み出していくかということである意味収めています。</p> <p>ただ、お2人の委員さんからご指摘いただいておりますように、やはり本日の冊子の1頁にも書いていますように、そもそも、戦略策定の趣旨の部分の最後のフレーズですけれども、この戦略は、地域、本市の特性を踏まえて策定するというのが1点。</p> <p>市民や事業者各種団体などまちづくりの様々な主体が連携協同して持続的な川西を創造する指針と位置付けると、これはつきり謳っています。</p> <p>ある意味ではアクターの問題がありましたけれども、冊子のなかにも、そういった事業主体といいますか、連携という部分について、主体というところについても表現す</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>る必要があるのかなと思います。</p> <p>それをいれることによって誰がどういう形でこの政策に関わっていくのかということが、ある意味明確になるような気がしましたので、大変貴重なご意見とっております。</p> <p>質問が2点、意見が1つあります。</p> <p>まず1点目の質問ですが、取り組み内容のところに、新規、と書かれているところがあります。</p> <p>私にとってはすべて新規の考え方になるのですが、例えばこの7頁目に6個項目ありますが、例えば一定の目標値に達したから、これはやめたとか、この取り組みはいったん打ち止めして、新たな取り組みをしているのがあるのかなのかというところの質問が1つ。</p> <p>それと少しわからないのが東多田地区内における魅力スポットの整備、私が住んでいるのが平野ですので、その部分はどこのことを言っておられるのかなというのが小さい質問で申し訳ないのですがその点が1つ。</p> <p>最後に意見ですが、16頁目の参画と協働の取り組みをおこなったことがある市民の割合というところが、現状値4.9%、目標値30%となっております。これに関してはあまりにも高い目標値なのかなと思います。</p> <p>この前のところで言ったと思うのですが、比較的市民の意識レベルというのが、住みやすいところにあってあまり高くない。そういう中で目標値に向かってどのように具体的に進めていくのが重要な課題であるということと、私ども青年会議所などの民間がどのように行政と取り組みながら、できるかが大事と思っています。</p> <p>特に新規のなかで、私どもは地域創造を一生懸命やろうとしている中でご担当者と青年会議所が一緒になってこれやってほしいとか、こういう意見を言っただけで、こういう部分で地域を発信できるようになっていければと思っておりますので、それについては依頼要望部分もあると思うのですが、協力させていただければと思います。</p>
事務局	<p>1点7頁の部分でご指摘いただきました。ここの部分の、例えば魅力の創造発信のなかで、挙げているもの、具体的な施策の展開として、1つ目、一定の地域資源、観光資源、川西にございます。それを活用していった交流人口展開にしていますが、現実には、すでに従前から取り組んでおります。例えば源氏まつりもそうですし、当たり前のようにやってきているものもあります。花火大会もそうです。</p> <p>正直あるのはありますが、どちらかというところではできるだけ新規のもの、これから特にこういうことを中心的に取り組んで、あらたな魅力の発信というものもございましたので、そこを中心に掲載させていただいているとございます。</p> <p>頁によっては、福祉的な部分であらたな新規があまり無く、既存のものを継続していく、着実に推進をはかってというところもあります。すべてを網羅しておるというわけではありませんので、特徴的なものを掲示させていただいているということで理解していただきたいと思っております。</p> <p>もう1点、多田東の地域については、多田東小学校と鼓滝のちょうど間の部分です。そこを整備していくことを考えておまして、書いてございます。</p>
委員	<p>九頭龍さんの神社の周りをどうにかするという個別の話ですよ。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>個別的な話になるのでしょうかね。断定的に限定的に書かれているので、思い入れが深いのかなと思いました。</p> <p>予定的な部分もありまして、何も固まっていないので。</p> <p>申し上げたのは、山がございまして、ご寄付をいただける可能性がありまして、実現すれば、自然公園的なものも含めて検討していけるのかなという、ここはほんとに可能性のもので、新規と書いています。具体的なことが決まっているわけではなく、言いにくい部分もあります。</p>
会長	<p>その他いかがでしょうか。おおよそ出尽くしましたでしょうか。</p> <p>特に出ないようであれば、だいぶ時間も終わりの時間に近づいてまいりましたので、このあたりにしたいと思います。</p> <p>次回は最後のまとめになろうかと思っておりますので、それに向けて本日のご意見も踏まえて、もう一度、全体にきちんと精査していただき、それからだいぶ本日の意見を踏まえますとかなり書きぶりも変わってくるかなと思っております。</p> <p>変えないといけなところは変えて頂かないとこの推進会議の意味がないと事務局にプレッシャーもかけておいて、そういうのも含めまして今後、しっかりと検討いただければというふうに思います。</p> <p>各委員、特に本日の内容、あるいは次回に向けてご質問・ご意見がなければ、以上にしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>それではまた個別のご意見あれば事務局へお伝えいただくということで本日の議事につきましては以上にさせていただきたいと思っております。</p> <p>その他について、ここからは事務局へお返ししたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>皆様、活発なご議論、貴重なご意見ほんとにありがとうございました。</p> <p>次回は11月18日の水曜日で、時間は本日と同様18時30分から開催を予定しております。</p> <p>場所につきましては7月の第1回目と同じ4階の庁議室を考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>出欠に関しましては文書を郵送させていただきますので、ご返送いただければと思います。</p> <p>先ほど新川会長からお話がありましたように、本日の議論の中でまた後から思い浮かれたような内容は、事務局にメールをいただきましたらその点もふまえて次回の最終の資料とさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>それでは本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>本日はまことにありがとうございました。お疲れ様でございました。</p>